

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年7月31日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年7月31日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【3号機タービン建屋1階廊下の結露水による漏えい検知器動作について】 「3号機T/B1FL松の廊下漏洩A」の警報が発生し、現場を確認した結果、結露水を確認。 原因は、床面のほこりが湿気を吸い湿潤状態となり、漏えい検知器が動作し当該警報が発生したと推定。 当該漏えい検知器の電極部および床面の清掃を実施し、当該警報が復帰。	GⅢ	7月26日
2	【3号機燃料取扱機の動作不能について】 3号機燃料取扱設備の年次点検にて燃料取扱機の電源を復旧した際、「ロードセル異常」警報が発生し、動作不能を確認。 原因は、ケーブルコネクタの接触不良と判断。 当該コネクタの再接続を行った結果、警報が復帰し、燃料取扱機の正常動作を確認。	GⅢ	7月26日